

令和6年度 西海市立大瀬戸中学校「学校経営方針」

西海市立大瀬戸中学校 校長 島 大輔

はじめに

大瀬戸中学校を「笑顔あふれる、生徒や職員が生き生きと活動する学校」にしたいと考えています。そのために、まず、生徒に自己肯定感や自己有用感を感じさせ、一人一人の居場所をつくりましょう。学校生活には、学習活動や学校行事等、生徒が活躍できる場面がたくさんあります。そのどこかで、生徒が輝く場面をつくってあげましょう。頭で勝負、体で勝負、心で勝負。スモールステップで構いません、それぞれの得意を探し、伸ばし、輝かせましょう。このことが、自信や心の安定につながると信じています。時には、学習集団の見直しも視野に入れ、異学年交流の機会を設定しましょう。学年や学級を越えた生徒同士のコミュニケーションの機会は新たな人間関係作りを促進し、新しくできた仲間の存在は、心の安心感へ直結すると考えています。また、先輩となる上級生は頼りになる存在ですし、学校を良い方向へ導いてくれます。役目や立場が人を成長させる。まずはトライ。あらゆる角度からアプローチをしましょう。もちろん、職員が輝く場面も必須です。専門性、知識や技能、趣味や特技等、生かす場面をつくります。

1 長崎県教育方針

長崎県の教育は、国際交流の歴史が息づく郷土の伝統と文化を継承し、豊かな自然を守るとともに、命の尊さや個人の尊厳を重んじ、公共の精神を身に付け、我が国や世界の平和と発展に貢献していこうとする調和のとれた人間の育成をめざす。

学校・家庭及び地域住民は、「教育県長崎」の確立のため、自らの役割と責任を認識し、互いに手を携え、県民挙げて子どもたちを健やかに育むとともに、生涯にわたって学び続けることのできる社会の実現を図る。

とくに、教育に携わる者は、子どもたちに深い愛情を注ぎながら、その使命を自覚し、識見と指導力を高め、本県教育の充実と発展に努めなければならない。

2 西海市教育方針

西海市教育委員会は、協働の精神を基盤として、心身ともに健康な市民の育成を期する。

特に、豊かな自然や文化を愛し、生涯にわたり学び続けることができる教育の里づくりに努める。

3 学校教育方針

日本国憲法・教育基本法並びに長崎県及び西海市の教育方針に基づき、生徒や地域の実態と時代の要請を踏まえ、生きる力すなわち「知・徳・体」の調和のとれた豊かな人格形成を図るための教育を推進し、自ら「学び、考え、動く」生徒の育成を図る。特に、「確かな学力の定着と向上」「豊かな人間性の涵養」は、学校の果たすべき重要な役割であることを自覚し、生徒の将来を見据えた教育活動を推進する。そのために、教職員は常に謙虚な姿勢で互いに学び合い、心を一つにして信頼される学校づくりに努める。

4 校訓

「自主 親和 健康」

5 学校教育目標

自ら「学び 考え 動く」生徒の育成

6 私たちが育てたい生徒の姿

(自主) 目標を持ち、自ら学び考え行動する生徒

(親和) 自他の生命を尊び、思いやりのある生徒

(健康) 心身ともに健康で、気力体力のある生徒

7 私たちがめざす教職員の姿

(自主) 研鑽と修養に努め、高め合う教職員

(親和) 生徒と語り、生徒とともに伸びる教職員

(健康) 信頼され、心身ともに健康な教職員

8 令和6年度スローガン

「トライ」 ～ 頭で勝負、体で勝負、心で勝負 ～

9 重点目標

確かな学力の定着	豊かな人間性の涵養	健康・安全の推進	働きやすい職場環境	開かれた学校
<ul style="list-style-type: none"> ○学ぶ姿勢、学ぼうとする意欲の育成 ○わかる授業づくり ○家庭学習や次時につなぐ授業のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○誰からも愛される人間性の醸成 ○困難を乗り越える心の強さの育成 ○「は・あ・と・ふ・る運動」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の確立 ○健康保持と衛生意識の向上 ○施設設備等の安全点検徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○働きがいのある職場づくり ○支え合う組織体制の充実 ○働き方改革の推進 ○綱紀保持と不祥事根絶 	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさとを愛し、大切にしている心の育成 ○情報の発信と共有 ○地域や小中高連携の強化

『は』 早寝・早起き・朝ごはん、『あ』 明るいあいさつ 自分から、『と』 友だちも自分の心も大切に、『ふ』 ふるさとを愛する西海っ子、『る』 ルールを守ってみんなえがお

10 具体的方策

1 確かな学力の定着（①教育課程・学習指導）

- ①教科の魅力伝える。
- ②学習のねらいや見通しを意識させ、生徒の学ぶ姿勢、学ぼうとする意欲を引き出す。
- ③わかる授業の工夫と指導力の向上に努める。（ICT機器、学力向上SVの積極的な活用）
- ④学習のまとめ、単元計画の効果的な提示により、生徒の家庭学習の習慣化につなぐ。
- ⑤学習規律の徹底と学習・教室環境の整備を図る。
- ⑥生徒の情報を共有し、全教職員で配慮を要する生徒の支援を図る。
- ⑦キャリア教育の充実により、夢やあこがれを抱く生徒の育成を図る。

2 豊かな人間性の涵養（②生徒指導）

- ①人権教育や道徳教育を充実させ、いじめの根絶、命を大切に、他を思いやる心を育成する。
- ②学校行事や体験活動、掲示教育等を活用して、生徒の自己肯定感と自己有用感を育成する。（学校行事では役割と責任、体験活動では言語活動、掲示教育では自信をつけさせる。）
- ③「教えて・認めて・励まして」を基本とした愛のある積極的な生徒指導により、生徒に、困難に挑戦し、乗り越える心の強さを身につけさせる。
- ④関係機関との連携や生徒の悩みに寄り添う相談活動を展開し、登校に不安を抱える生徒を支える。
- ⑤「は・あ・と・ふ・る運動」を推進し、家庭、地域と一体となって豊かな心を育む。

3 健康・安全の増進（②生徒指導）

- ①基本的な生活習慣の確立を図る。（早寝・早起き・朝ごはん、感染症予防、食育の推進）
- ②危機管理能力の育成、健康の保持増進に努める。（安全教育、保健行事、フッ化物洗口の活用）
- ③文化的・体育的行事等を通じて、生涯にわたって文化・スポーツに親しむ習慣づくりを目指す。
- ④衛生管理・施設設備の安全点検の徹底を図る。（毎月の安全点検の実施、危機管理意識の高揚）
- ⑤師弟同行・率先垂範による清掃指導や整理整頓の充実に努める。

4 働きやすい職場環境（③学校運営）

- ①教職員一人一人の強みを生かす教育活動により、達成感や働きがいを感じられる職場にする。
- ②支え合う職員集団づくりを進める。（職員間の情報共有や意思疎通、生徒指導体制等）
- ③仕事の優先順位付けと計画性、ICTの活用等により、働き方改革の推進を図る。（会議等の効率化、在校時間の短縮化、定時退校日やノー部活デーの徹底、計画年休の取得等）
- ④綱紀保持の徹底と不祥事根絶に向け、全職員の意識向上を図る。（勤務規律の通知文書やコンプライアンス通信等を活用した不祥事の未然予防）
- ⑤衛生的で居心地のよい職場環境を保つ。

5 開かれた学校（③学校運営）

- ①西海市・大瀬戸町の特色を生かした教育の推進に努める。
- ②地域の素材・人材の積極的な活用に努める。
- ③情報の発信に努める。（学校だより、学級通信、学校ホームページ、安心メール等）
- ④R7鶴南特別支援学校小中学部西彼杵分教室の開室をふまえた教育及び小・中・高連携の充実。
- ⑤地域活動やPTA活動への積極的な参加に努める。

